

平成29年度共同研究シーズ事業化支援助成事業(バイオ技術事業化促進助成事業) 採択事業の概要について

公益財団法人 庄内地域産業振興センター

1. シーズ探索型

採択事業名		研究開発概要	採択企業名	事業実施予定期間	採択額等
新規	メタボローム解析によるトマトの成分変化を見据えた製造工程の確立	当社では、砂丘地にてトマト等の農産物を栽培と製造加工を行い、商品を販売している。その中でもトマトについては、3品種の原料をブレンドし製造加工を経て、「美味しい」トマトジュースを製造し販売している。しかしながら、トマトの各品種および製造加工での成分等について科学的裏付けがない。今回、メタボローム解析技術を活用し、トマトの品種間差とその製造工程における成分の動態に関する研究を実施することとした。	株式会社山本組(鶴岡市)	平成29年6月～平成31年3月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	メタボローム解析を使用した「熟成こうじ納豆」の成分解析	熟成こうじ納豆の熟成(2次発酵過程)がもたらす成分解析を行い、通常の糸引き納豆との成分面での優位性・その可能性を明確にする。また、当該熟成こうじ納豆は郷土の伝統発酵食品として自然発生的かつ職人の経験則を基に製造が培われてきたが、他社製品にはない2次発酵過程での成分変化に科学的根拠が付加されれば製造条件の最適化が期待される。	株式会社ゆきんこ(米沢市)	平成28年6月～平成30年3月末	採択額:50万円 助成率:2/3
継続	果肉ソースの美味しさに寄与する成分の解明・検証	果肉ソースを製造する上で、美味しさを示す指標となる成分が判明すれば、今後の製品開発の上で有用であり、PR材料としての可能性も期待できる。本事業では、調合や殺菌方法をはじめとした各種条件を変えた果肉ソースをメタボローム解析することにより、果肉ソースにおける美味しさの成分を解明することを主な目的とする。	角田商事株式会社(寒河江市)	平成28年6月～平成30年3月末	採択額:50万円 助成率:2/3
	メタボローム解析による長期熟成骨付き生ハムの品質評価と製法の確立	新製品として検討している長期熟成骨付き生ハムの品質評価と製造方法を確立するため、熟成期間等の違いによる味と代謝成分を調べる。味の評価は、味覚センサーと官能試験を組み合わせて、長期熟成骨付き生ハムの熟成期間の設計指標を探索する。	株式会社東北ハム(鶴岡市)	平成28年6月～平成30年3月末	採択額:50万円 助成率:2/3

2. 事業化推進型

採択事業名		研究開発概要	採択企業名	事業実施予定期間	採択額等
新規 (事業化推進型B)	山形県産オニグルミを用いた機能性食品素材の開発	山形県産オニグルミを用いた機能性食品素材の開発を目指す。主にオニグルミを用いたクルミ油の商品化を検討しつつ、压榨した「搾りかす」の有用成分や機能性を本事業において明らかにし、これらの成果を活かした機能性食品素材の開発に取り組む。	三和油脂株式会社(天童市)	平成29年6月～平成31年3月末	採択額:250万円 助成率:2/3
	日本酒の醸造工程における杜氏の意思決定のリパース・エンジニアリング	日本酒の醸造過程において、品質を一定にするためにアルコール度・アミノ酸度などの様々な測定は行われているが、杜氏はこれ以外に様々なもろみの状態や環境要因を考慮しながら無意識のうちに微調整を行っている。本研究では、これらの様々な変数の観測を行い、杜氏が行っている品質制御のルールを推定することを目標とする。	富士酒造株式会社(鶴岡市)	平成29年6月～平成31年3月末	採択額:250万円 助成率:2/3
	二次リンパ組織移植法(SLOT法)と人工知能技術を融合した次世代創薬プラットフォーム開発	二次リンパ組織移植法(SLOT法)は従来の免疫感作実験と比べ、多様な抗体医薬品候補を取得可能な手法である。本研究開発ではMOLCUREが開発を行っている抗体医薬品に特化した人工知能を、SLOT法から得られる免疫データを用いて学習させることで、多様かつ有用な抗体医薬品候補の提示が可能な次世代抗体医薬品探索プラットフォームの開発を行う。	株式会社MOLCURE(鶴岡市)	平成29年6月～平成31年3月末	採択額:250万円 助成率:2/3
継続	マッシュルールの機能性解析と商品開発	マッシュルームおよび加工品の生理機能を詳細に解析するとともに、マッシュルールの付加価値を高める加工技術を開発する。マッシュルームと他キノコ類との差別化を図るとともに、機能性成分や旨味成分を特徴とする新規なマッシュルーム乾燥加工品の商品化を検討する。	有限会社舟形マッシュルーム(舟形町)	平成28年6月～平成30年3月末	採択額:250万円 助成率:2/3
	腸内環境評価事業に向けた日本人腸内環境データベースの構築	近年、腸内環境の適切なコントロールが健康維持や疾患予防に有効であることが明らかになってきた。しかし、腸内環境は個人ごとに異なることから、万人に共通した腸内環境改善策は存在しない。そこで、本事業では多くの日本人から検体を集めて腸内環境を評価し、そのパターン分けを行い、データベースを構築する。その結果に基づき、個々のパターンに合わせた食習慣改善アドバイスを提供するサービスの事業化を目指す。	株式会社メタジェン(鶴岡市)	平成28年6月～平成30年3月末	採択額:250万円 助成率:2/3